

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	人間市立西武中学校	階数	地上4F
建設地	埼玉県入間市	構造	RC造
用途地域	敷地西側:第1種住居地域 敷地東側	平均居住人員	592 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,130 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年3月 予定	評価の実施日	2026年1月6日
敷地面積	31,621 m ²	作成者	
建築面積	3,354 m ²	確認日	2026年1月22日
延床面積	8,657 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%

②建築物の取組み 77%

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 子どもたちの社会性・人間性を育む場として、快適な空間を創造します。学校施設全体を学びの場として、多様な学びの姿に対応できる空間を創造します。学校と地域や社会が連携・協働できる場として、交流できる空間を創造します。		その他
Q1 室内環境 建物外周にはバルコニーを設け、光・視環境に配慮している。全館禁煙とするなど空気室環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 3Dモデルを活用して、子どもたちにとって快適な学びの空間を内装計画で検討している。維持管理のしやすい内装材、外装材を選定している。	Q3 室外環境(敷地内) セキュリティも配慮した地域開放エリアを設け、災害時にも地域住民を受け入れる計画としている。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど設備シstemの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ、節水型衛生器具を採用するなど水資源の保護に配慮している。また躯体にLGSを組むことで、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 自転車、自動車の利用を考慮した駐輪場、駐車場のレイアウトとなっている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
人間市立西武中学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.30		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.30		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20		-		
1.3 吸音				3.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-		3.0
2.1 室温制御				2.6	0.50		-		
1 室温				3.0	0.60		-		
2 外皮性能				2.0	0.40		-		
3 ゾーン別制御性					-		-		
2.2 湿度制御		吸込空気が湿度50%となるよう加湿機能を付加		4.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.8	0.25		-		2.8
3.1 昼光利用				2.4	0.30		-		
1 昼光率				2.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.0	0.25		-		3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量		建築基準法および学校環境衛生基準を満たす換気量の1.4倍以上		5.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.1
1 機能性				3.0	0.40		-		3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観				3.0	0.50		-		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				3.0	0.50		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30		-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.7	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				4.0	0.20		-		
1 空調・換気設備		熱源種を分散化し、吊配管などを導入		5.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		受水槽・高架水槽は分散して配置		4.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		通信手段を多様化。浸水の危険性なし。		4.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5	
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-		
1	階高のゆとり	階高3.75m	4.0	0.60	-	-		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.194	4.0	0.40	-	-		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-		
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性	適切な位置にEPS・点検口を設けている	5.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性	適切な位置にEPS・点検口を設けている	5.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性	機器の更新に対応した仮設スペースを確保	4.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0	
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	充実した地域開放エリア、門に防犯カメラの設置	5.0	0.50	-	-		
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.41	0.50	-	-	5.0	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング		-	-	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-		
集合住宅の評価			-	-	-	-		
4.1	モニタリング		-	-	-	-		
4.2	運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8	
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水			3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上げ材が容易に分解可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率 78%	0.33	-	-	4.0	
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制	適切な量の駐輪場と駐車場を設けている	5.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-		
2	砂塵の抑制		3.0	0.20	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20	-	-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明は使用していない	5.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	入間市立西武中学校	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	-----------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	2.6	=	6.6	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄